

人工芝 念願の張り替え グラウンド真新しく

平成21年2月27日母校東高に人工芝グラウンドが完成した。しかし、過酷なまでの使用頻度は確実にその寿命を縮めていった。そうした状況を受け、人工芝張り替えの声が上がったのは平成28年12月だった。

人工芝張り替えの議論は、当初サッカー全国大会募金管理委員会においてなされた。メンバーは、学校後援会、同窓会、PTA、サッカー部後援会、サッカー部父母会、サッカー部OB会の各会長と校長の7者で、この委員会は平成29年1月から7月まで5回開催された。

そして、平成29年8月4日、前記各団体から2名ないし3名の委員から成る人工芝整備実行委員会が発足した。以後、平成30年5月13日まで13回の会議を重ね同月中旬に業者が確定し、7月から工事が始まり9月下旬完成に至った。この間の議論で問題になった主な点は以下の4点だった。



張り替え前のグラウンド

(1) 全面張り替えの場合、従来の芝の上に新しい芝を張る「オーバーレイ」方法をとるか (2) 予算規模とその捻出方法 (3) 芝のグレード (4) 従来の張り替えのための資金の積み立て方法。

(1)については、オーバーレイの方法をとらないとすると、従来の芝の廃棄費用が数百万円から1千万円近く必要になるため、予算規模とその捻出方法次第ということになった。

(2)は最大の問題だった。業者の当初の見積りによると、芝のグレードにもよるが、オーバーレイの方法をとっても8千万円前後という高額だった。しかし、このような想定外の金額を目標にしたところで現実味はなく、議論の末、1千万円はサッカー部全国大会募金管理委員会から拠出可能ということに、残り4千万円を募金目標に掲げることとした。そして、(3)の問題は委員会の提案する金額に合わせて業者の協力を得るしかないということになった。

(4)の問題は、再び今回のような苦勞を各団体の皆様にさせたくないということで見解が一致し、各団体それぞれの毎年の積み立て目標金額を決めることとした。



完成した人工芝グラウンド

東高新聞部 撮影

このように検討を重ねた末、従来の芝を撤去して張り替える方式を採用。念願の新たな人工芝グラウンドが完成した。

今回の実行委員会の委員の中には9年前の人工芝敷設の際に関係された方も何人かおられる。私もその一人で、当初その巡り合せの皮肉さを嘆いたものだった。しかし、皆様の暖かいご協力に力を得て完成に漕ぎつけることができたことにより、今は晴れ晴れとした気持ちである。ご協力有難うございました。



東高新聞部 撮影

人工芝整備実行委員会 委員長代行 河村 正史



第32号

平成30年(2018年) 10月1日発行

【編集・発行】

〒426-8577 藤枝市天王町1丁目7-1 静岡県立藤枝東高等学校同窓会

【同窓会】

電話/054-645-3527 FAX/054-645-3529 <同窓生数>26,097名 <在学生数> 838名 <職員数> 71名

【印刷】

〒426-0041 藤枝市高柳1丁目17-23 株式会社共立アイコム 電話/054-635-4651(代)

東高プライド



副校長(新任) 鈴木 安雄

今年4月から藤枝東高でお世話になっております鈴木と申します。私は、昭和63年から平成5年まで東高で勤務しており、四半世紀ぶりに帰ってきたことになりました。多くの思い出のある学校に再び所属でき、とても嬉しく思うとともに、大きな責任を感じております。微力ながら、東高の更なる発展に尽力する所存ですので、よろしくお願いたします。

4月以降喜ばしいことの一つに、私

が二十代で教えた人たちの再会があります。教科(英語)を教えた人が、現在東高の職員に5人います。そのうちの1人とは、部活動(野球)で共に汗を流しました。在校生の保護者の中にも、「安雄先生！」と声を掛けてくださる方がいます。また、千南祭の公開日や、部活動の応援に行った時にも、「懐かしいですねえ」と言葉を交わすことがよくあります。

これらの東高同窓生は、もう四十代になられていて、それぞれの組織や地域などで活躍されています。この方々と話して感じるのは、それぞれに「東高プライド」を持っていらっしやること。千南原の地で、名門の空気の中で仲間とともに若き日を全力で過ごしたことは、とつても幸せなことだ、今もそれを幸せなことと思っているのだと感じます。

8月1日に実施した中学生1日体験入学で、私は学校紹介のプレゼンを次のことばで締め括ることにしました。この4か月で改めて実感したことです。「どこに行ってもいつになっても誇りに思える学校」

長谷部選手、3度目のワールドカップ



6月25日付 静岡新聞朝刊

サッカーワールドカップ(W杯)ロシア大会に出場した日本代表の主将、長谷部誠選手(75回、平成14年卒)が7月18日、藤枝市から市民栄誉賞を贈られた。長谷部選手は南アフリカ、ブラジル、そして今回と3大会連続のW杯出場で、いずれも主将マークを付けて日本代表をけん引した。3大会続けて主将を務めるのは日本でももちろん初めて。今回の受賞はこうした実績が評価された。

ロシア大会の長谷部選手は1次リーグ1、2戦と決勝トーナメント1回戦にフル出場。1次リーグ最終戦は後半途中からの出場だったが、ピッチに立つと的確な指示を送って戦術を徹底させ、チームを1次リーグ突破に導いた。



北村正平藤枝市長(左)から市民栄誉賞を贈られた長谷部選手(藤枝市提供)

東高同窓生で、学校後援会長でもある北村正平市長(38回、昭和40年卒)は授賞式で「藤枝市の名声を世界に高めてくれた」と賛辞を贈った。

30年度総会と今後の活動について

本年度の東高同窓会総会は平成30年7月14日(土)に藤枝市の小杉苑において多数の役員の皆様のご出席をいただき開催されました。静岡古城研究会の水野茂氏による特別講演「今川義元の最大ミステリー「花蔵の乱」」の特別講演の後、引き続き29年度事業、決算報告、監査報告、30年度事業計画並びに会計予算および事務局規定と追加する規約改定案が審議され原案の通り可決されました。尚、29年度決算報告につきましては本紙記載の通りです。校庭の人工芝は、使用頻度が激しいために予定より早く張替が必要となり、学校後援会やサッカー部後援会等の関係団体で構成される委員会の検討結果を受け、同窓会としてもこれらの事業について厳しい財政問題を十分に考慮しながら協力をいたしました。次に今後の委員会活動について簡単に報告いたします。

組織・規約委員会

個人情報保護法等により会員名簿の作成が困難な時代ですが、組織強化のために各別委員と積極的に話し合いを行い、個別組織づくりの方向性等について総務委員会と協力して検討を行う。

会報委員会

同窓会報「千南原」の年1回発行を継続しながら、広く情報を発信するためのホームページの充実を引き続き行う。

総務委員会

総会の運営・名簿管理等と、全般的な部活動助成と東海大会や全国大会等で顕著な成績を上げた部活動に助成を行う。昨年度は東海大会等に進出する部活動が多かった。活動の基盤になる同窓会維持会費の向上のため組織規約委員会と連携しながら活動を行う。

平成29年度 藤枝東高等学校同窓会会計決算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収入総額 21,907,069円
支出総額 21,907,069円
差引金額 0円

収入の部	29年度決算額	29年度予算額	増減	摘要
繰越金	15,751,725	15,751,725	0	
入会金	2,831,000	2,850,000	△19,000	10,000円×281名 3000円×7名
寄付及び総会費	3,316,048	3,618,608	△302,560	維持費・総会費
雑収入	8,296	50,000	△41,704	預金利息等
合計	21,907,069	22,270,333	△363,264	

支出の部	29年度決算額	29年度予算額	増減	摘要
会議費	939,324	1,200,000	△260,676	本部役員会、役員総会、委員会
事務費	3,342,548	3,930,000	△587,452	
事務局費	427,550	500,000	△72,450	
旅費	181,944	160,000	21,944	本部役員会、中京・浜松地区会
印刷費	1,071,957	1,150,000	△78,043	会報送付用紙、書籍コピー用紙
通信費	1,494,060	1,600,000	△105,940	会報送付費用、往復書、切手
備品費	150,617	500,000	△349,383	電話機、ノートパソコン
消耗品費	16,420	20,000	△3,580	ラベルテプラ、メモリ部品
事業費	1,629,380	2,520,000	△890,620	
記念品費	471,045	500,000	△28,955	卒業生記念品、入会記念品
支部活動助成費	98,052	150,000	△51,948	支部総会の補助
支度金	20,800	60,000	△39,200	弔電等
会館補助費	100,000	100,000	0	千南原会館維持費補助
会館整備費	0	500,000	△500,000	
保険料	54,350	60,000	△5,650	同窓会館火災保険料
渉外費	90,088	150,000	△59,912	各関係の団体等への祝儀・会報出席者御礼
特別会計補助金	730,000	900,000	△170,000	部活動助成
雑費	65,045	100,000	△34,955	卒業アルバム代、貸金庫等
予備費	0	14,620,333	△14,620,333	
次年度繰越	15,995,817	0	15,995,817	
合計	21,907,069	22,270,333	△363,264	